



第 96 卷 総目次

平成 25 (2013) 年

第九六卷 第一号 特集 災害

特集「災害」によせて……………小山 哲…一（一）

論説

発掘調査より知られる貞観一二年（八六九）陸奥国巨大地震・津波の

被害とその復興……………柳澤和明…一（五）

室町時代の災害と伊勢神宮……………山田雄司…一（四二）

一五八〇年ロンドン地震と神罰……………楠 義彦…一（七一）

社会の流動性とレジリアンス……………窪田順平…一（二〇〇）

ポリシェヴィキ権力と二一／二二年飢饉……………梶川伸一…一（二二八）

三・一一複合災害における避難の地理空間……………小田隆史…一（二六七）

書評

マイケル・R・ウォーターズ著『ジオアーケオロジー』……………富井 眞…一（二〇八）

A. Janku, G. J. Schenk, and F. Mauelshagen (eds), *Historical Disasters in Context. Science, Religion, and Politics*……………大窪一也・住友一木・福元健之・増永理考…一（二二五）

山崎正勝著『日本の核開発：一九三九〜一九五五』……………山本昭宏…一（二二一）

紹介

山口弥一郎著『津浪と村』……………相澤 亮太郎…一（二二八）

【論 説】

近江八景詩歌の伝播と受容	鍛治宏	二(二五一)
〈円成寺陵〉の歴史的位置	黒羽亮	二(二八八)
「エトノス」に基づくアカイア連邦の公職制度と統合政策	岸本廣	二(三一六)
咸寧侯仇鸞の周辺	城地孝	三(三八七)
フランス第三共和政前期(二八七〇—一九一四)における 下院議員の選出過程	谷口良生	三(四二一)
不戦条約論再考	酒井一臣	三(四五二)
帝国時代におけるヒツタイトの支配体制	山本孟	四(四九一)
近世真宗における神祇不帰依の宗風をめぐる争論の構造と展開	小林准士	四(五二五)
一九二〇年代初頭の広東鄉村社会	宮内肇	四(五六六)
日本中世の手形	佐藤泰弘	五(六一五)
琵琶湖の自然環境からみた中世堅田の漁撈活動	佐野静代	五(六五〇)
EECにおける「加速」の決定と欧州統合の進展	能勢和宏	五(六八四)
戦後期イングランドにおけるプロ・フットボールの 社会的文脈の変化	藤井翔太	六(七四三)
ローマ帝政前期における請願・回答制度と法の形成	山下孝輔	六(七八〇)
北朝における東清河崔氏	梶山智史	六(八一五)

【書評】

富谷至著『文書行政の漢帝国』	桐本東太	二 (三五八)
Christine Kooi, <i>Calvinists and Catholics during Holland's Golden Age</i>		
<i>Hetics and Idolaters</i> .....	安平弦司	二 (三六四)
松田忍著『系統農会と近代日本』	伊藤淳史	二 (三七一)
小倉宗著『江戸幕府上方支配機構の研究』	藤本仁文	四 (五九八)
佐藤公美著『中世イタリアの地域と国家』	高田京比子	五 (七一九)
松本彰著『記念碑に刻まれたドイツ』	北村昌史	五 (七二八)
大戸千之著『歴史と事実』	阿部拓児	六 (八四九)
荒又美陽著『パリ神話と都市景観』	長井伸仁	六 (八五五)
山本理佳著『近代化遺産』にみる国家と地域の関係性』	大平晃久	六 (八六二)

【紹介】

金田章裕著『文化的景観』	南出真助	二 (三七八)
呉歴勇一著『一揆の原理』	亀田俊和	三 (四八〇)
桜井英治著『贈与の歴史学』	伊藤啓介	四 (六〇四)
澤田典子著『アレクサンドロス大王』	岸本廣大	六 (八六八)

【会 告】

二〇二二年度史学研究会大会・総会の記録、大会講演要旨（夫馬進「東アジア交流史上における朝鮮洪大容の北京旅行とその後」・春田晴郎「バルティア史研究から分かること」）……………	一	(二二九)
理事・評議委員会報告……………	一	(二三二)
史学研究会役員……………	四	(六〇七)